

福井県立大学かつみキャンパス

建築場所 福井県小浜市堅海

建物概要 構造/階数：鉄筋コンクリート造、一部木造、鉄骨造/地上2階建て

延べ面積：2,691.20㎡ 建築面積：2,021.52㎡

竣工年月：令和5年8月

事業者 福井県

設計者 (協組) 福井県建築設計監理協会

施工者 建築工事：(株)西野工務店 (株)時岡組建設工事共同企業体、(株)藤本建設

電気設備工事：川口電気(株)、高鳥電機(株)

機械設備工事：(株)サン設備、(株)武田設備

設計主旨

若狭湾のリアス式海岸をモチーフに雁行型の配置計画とし、屋根の形式は周囲の山並みや集落の屋根と調和を図るため寄棟造りとしている。

内装仕上げには県産杉材を積極的に活用するとともに、鉄筋コンクリートの打ち放し仕上げの型枠に、浮造り加工を施した杉板を用いることで、コンクリート表面にはっきりした木目を出し、異なる材質間の仕上げの調和を図っている。

外観写真（西側）



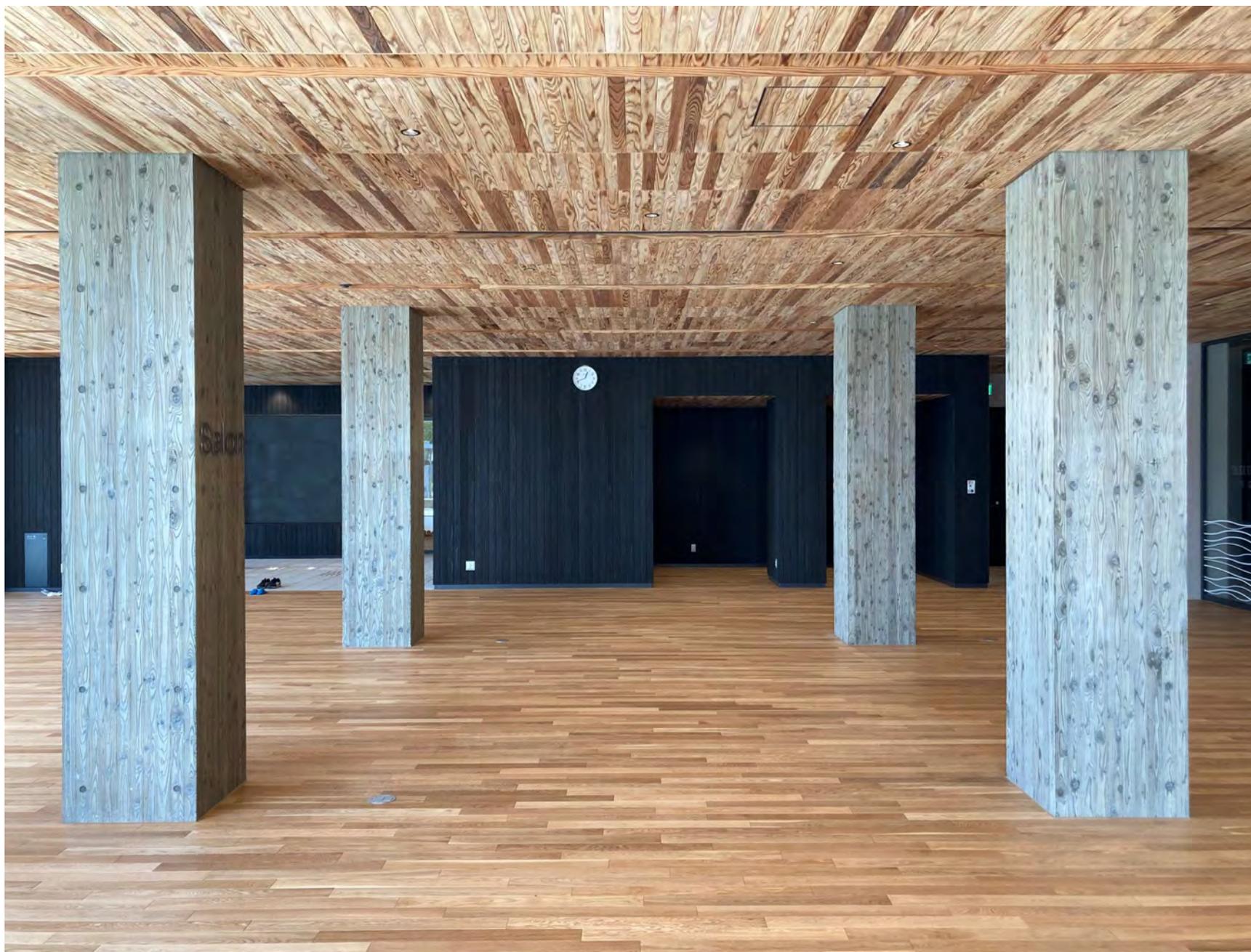
外観写真（南側）



外観写真（近景）



内観写真（1階：サロン）



内観写真（2階：学生オアシス）



内観写真（1階：飼育実験室）



外観パース



基本設計（設計コンセプト・配置計画）

(1-1) 基本方針

本計画では、次の3つを基本方針とし、新たなキャンパスの創造を目指します。

1) 学生が意欲的に学ぶことができるキャンパス

学生のチャレンジ精神や行動力を養い、自発的に行動ができる場を設ける等、行動意欲を向上させる空間を目指します。

また、学生のコミュニケーションを重視し、知的創造を誘発する空間を目指します。

2) 将来計画を見据えたキャンパス

既存棟との動線を考慮した配置とし、将来の利用を想定した計画を行います。

3) 地元に根差したキャンパス

福井県産の木材や小浜の伝統工芸品等の材料を積極的に使用し、愛着の持てるキャンパスを実現します。

(1-2) 計画概要、配置計画

敷地概要

建築地	: 福井県小浜市堅海50-1
計画敷地面積	: 約 8,516.80 m ²
用途地域	: 都市計画区域外
景観区域	: 小浜市景観計画区域内
垂直積雪量	: 垂直最深積雪量 1.0 m
周辺道路	: 県道

計画建物概要 (学科棟)

主要用途	: 大学
構造	: 鉄筋コンクリート造
	: 屋根: 木造
延べ面積	: 約 1,921.20 m ²
階数	: 地上2階建て 地下なし

計画建物概要 (飼育実験棟)

主要用途	: 大学
構造	: 鉄骨造
延べ面積	: 約 770 m ²
階数	: 平屋建て



基本設計（平面計画）

(1-3) 平面計画

① フレキシブルに活用できるサロン

1階には、学生の休憩場や自習室となるサロンの大空間を設けます。また、外部講師のセミナーや体験実習等のイベントにフレキシブルに活用できる計画とします。

② 一体利用できる講義室

講義室を2か所設け、それぞれ40人程度が利用できる計画とします。また、2つの講義室を可動間仕切りで仕切ることによって、80人程度の大人数でも利用できる計画とします。各セレモニーや講演会にも対応できます。

③ サロンに隣接した手洗い

共用空間である1階サロンに隣接して手洗いを設け、感染症対策を行います。



1階平面図

④ 明確なエリア分け

実験・講義を行える諸室をまとめて配置した明確なエリア分けを行い、実験・講義に集中できる環境を整えます。

⑤ 環境のよい教員ラボ・学生ラボ

全ての教員ラボ及び学生ラボを外部に面して配置し、自然採光や眺望を確保することで環境の向上を図ります。また、フリーアドレス式とし、フレキシブルに活用できる計画とします。

⑥ 海の眺望を望むテラス

2階には西側の海に面してテラスを設けます。海の眺望を望むことができ、学生たちがリフレッシュできる場となります。



2階平面図